

おれんじの屋根

施設長より

「自由にもものが言えることの大切さ」

今月、57年ぶりの東京オリンピックが開催されました。新型コロナウイルス感染拡大中でもあり、さほど関心はありませんでしたが、関心を持ったことの一つに、コーチを批判したら帰国命令が出て、亡命を希望した女子陸上選手のことでした。旧ソ連圏のヨーロッパ最後の独裁国家と呼ばれている国で、帰国したら自身の生命・身体に重大な危機があつて、「戻って来てはいけない。」という祖母の電話で空港で保護を求め、隣国に亡命したとのこと。世界には、自由にもものが言えない、言えば自身や家族、近親者に累が及ぶ、そんな国がまだまだあるのだということに、改めて気付かされました。

ただ、人を支配・服従させ、ものを言わせない独裁や専制は、何も国家に限ったことではなく、大小さまざまな組織や集団、そして、職場でもあり得ることと思います。

私は、子どもたちや学校のためには、こうした方がいいのではないかということについて、若い時から割と自由に発言をしていました。認めていただくことが多かったのですが、ある学校で学部主事という学部のまとめ役をしていたときは、当時の校長から2年間で5回校長室に呼び出されて1時間以上の叱責を受けたことも。学校をよくしたいという思いで言っているのに、なぜなのだろう?と思ったこともありました。

自分がそうだったので、他の人にも自分の思いをなるべく出してほしいと、自分の校長時代は、お客さんや会議などの

とき以外は、校長室のドアは常にオープン、話がある人はいつでもどうぞと教職員や保護者の方にお話していました。ドアが閉まった校長室に、ノックをして入るのは少々勇気が必要ですが、ドアが開いていると、気持ちが軽くなります。子どもが入っていたずらをするとの声もありましたが、戻って来たらソファに座っていたりするくらいでした。

しょうぶの里では、残念ながら施設長室は事務室の一番奥にあります。やはりドアは開けています。自身のことや職場環境の改善も含め、利用者さんのため、しょうぶの里のため、育成会のためなど、どんな話も大歓迎ということは、これまでずっと言い続けて来たことです。「良薬は口に苦し」。耳に痛い話や意見ほど大切にしなければならぬ。「こんなことを言ったら、ここにいらなくなるんじゃないか?」という心配は無用、「勇気を出して、よくぞ言ってくれた。ありがとう。」という気持ちを持ちたいと思っています。

聞いたからと言って、意見を全部採り上げることはもちろんできないでしょうが、それが、風通しのよい、生き生きと仕事ができる職場環境づくり、さらには、虐待防止などにもつながり、最終的には、利用者さんへのよりよい支援や日々の生活の向上につながるかと信じるからです。

亡命したオリンピック選手の一件から、自由にもものが言えることの大切さを改めて痛感し、人の話に謙虚に耳を傾けなければならぬとの思いを強くしたところです。

書き遊ぶ

「手指消毒」

ゆうゆう会会長の瀬上です。この難しいとき、皆様のご協力に感謝申し上げます。



コロナの当初、感染症学の専門家が、これは第5波まで続くと予想しましたが、とうとうその通りになってしまいました。ワクチンを打てば安心ですが、これは体内に抗体を作って闘うもので治療薬ではないため、3回目の必要性も出てくるでしょう。

今、買い物に行くと店頭には必ず消毒液が置いてあります。ペダル式や手を出すだけの自動式も出てきました。



ここでよく考えてみましょう。店内に入るとき手指消毒して安心して買い物をされますが、それは自分の手についている菌を除いているだけです。つまり店内に持ち込まないようにしているのです。そのまま帰っていませんか? 他人が触れた商品や手すりから移る可能性もあるはず。店を出るときも消毒すると安心です。

入るときは他人のため、出るときは自分のために手指消毒をしましょう。



涼もう会

毎年恒例の涼もう会。今年は「暑い夏の日々を乗り越えるために、プールで涼み、お肉を食べてスタミナをつける！」を目的として、8月11日(水)に開催されました。

暑い夏の日々！が謳い文句でしたが、当日はあいにくの雨模様…プール遊びはできませんでしたが美味しいお肉メインのランチをいただき、パワーはフル充電完了です！



白くまコンテスト

思い思いの感性でデコレーションをして作る「白くまかき氷」とにかく盛る人、好きな食材だけのせる人、彩り重視の人…十人十色の白くまかき氷が出来上がりました！

後日、今日出来上がった白くまかき氷の写真コンテストを行います。誰の白くまが金メダルかなあ(*^*)



給食室より

9月 イベントメニュー

- 9月 3日 誕生会
 - 9月 16日 リクエストメニュー(昼食)
 - 9月 22日 お月見会(夕食)
 - 9月 28日 リクエストメニュー(昼食)
- 内容は検討中です

《十五夜にまつわる“団子”について》

十五夜は旧暦8月15日の満月の夜のことです。現在では月を鑑賞(月見)しますが、本来は畑作物の収穫を祝う日です。月見団子を作り、芋、神酒、ススキなどを月下に供えますが、もともとは中国から伝わった風習とされています。

なお、この丸い団子はすでに鎌倉時代の書籍に、丸く作ったとの記述が出てきますから、とても古くて歴史のある食べ物だと言えます。楽しんでいただきましょう！

栄養士 齋藤

医務室より

猛威を振るっているデルタ株について

厚生労働省によりますと、8月6日時点で国立感染症研究所が懸念される変異株に分類しているのは下記の4種類です。

- ・イギリスで見つかった「アルファ株」
- ・南アフリカで最初に見つかった「ベータ株」
- ・ブラジルで広がった「ガンマ株」
- ・インドで見つかった「デルタ株」

現在、猛威を振るっているのはインドで見つかった「デルタ株」です。

「デルタ株」の感染力は従来のウイルスの1.87倍、「アルファ株」の1.30倍と言われています。

政府分科会の尾身会長は、「確かに感染力は強くなっているが、道ですれ違っただけで感染するようないわゆる『空気感染』は起きておらず、感染リスクの高い場所はこれまでと変わらず、換気が悪いとか多くの人が集まるような場所だ。ただ、感染力が高まったためデルタ株の地下の売り場や、髪を切る場面、学習塾などいままでもあまり感染が報告されなかった場面でも感染が実際に起きるようになってきている。これまで個人で行ってきたマスク着用、換気、3密の回避などの対策を今まで以上に気をつけてやってもらう必要がある」と話されています。

熊本県でもこのデルタ株へ置き換わりつつあるということです。ワクチンの接種率も徐々に進んではいますが接種しても、感染しない、感染させないわけではないのでマスクの着用、手指の消毒、3密を避けるなどの対策は引き続きしていかなければなりません。

《9月の行事予定》

- ☆ 2日(木) 訪問歯科 市有成会定期大会
- ☆ 3日(金) 誕生会
- ☆ 6日(月) 職員会議 給食委員会
- ☆ 7日(火) テイクアウトランチ
- ☆ 9日(木) 訪問歯科 テイクアウトランチ
- ☆ 16日(木) 訪問歯科
- ☆ 22日(水) お月見会
- ☆ 27日(月) 研修会(救急蘇生法) 訪問散髪
- ☆ 28日(火) 高野病院訪問診療
- ☆ 30日(木) 訪問歯科 テイクアウトランチ

※予定ですので変更になることがあります。ご了承ください。

～編集後記～

東京オリンピック2020も、終わってみれば金メダル27個、銀メダル14個、銅メダル17個、総数27個のメダルを獲得！米国、中国に次いで第3位の成績でした。コロナ禍の中、開催しなくてもいいのではと思っていました。選手の方々が、開催してくれたことへの感謝の思いを伝えられているのを知ると、選手の間では開催してほしいという思いを抑え、やり切りの状態で頑張っていたんだなあ…。

いまだコロナの感染者が増えていく状況ですが、しょうぶの里の利用者さん、職員は2回目のワクチン接種も終え、心配していた副反応も若干の方に見られましたが、大事になることはなく一安心しました。

～～第52号～～

令和3年8月25日発行
発行元 しょうぶの里
熊本市西区小島9丁目14-58
TEL (096) 311-4588

